



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社スタジオアリス
 コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中井 俊宏
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6343-2600

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	15,592	0.4	△328	—	△329	—	△562	—
28年12月期第2四半期	15,523	2.7	△2	—	△14	—	△342	—

(注)包括利益 30年2月期第2四半期 △526百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △358百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	△33.10	—
28年12月期第2四半期	△20.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	30,003	20,725	66.0	1,166.60
28年12月期	30,484	22,095	69.6	1,249.73

(参考)自己資本 30年2月期第2四半期 19,813百万円 28年12月期 21,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,100	—	3,800	—	3,810	—	1,820	—	107.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1.平成30年2月期は決算期変更により14ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※2.第4四半期(累計)の連結業績につきましては、売上高40,200百万円(前年同期比103.8%)、営業利益5,170百万円(前年同期比94.8%)、経常利益5,175百万円(前年同期比94.5%)、親会社株主に帰属する当期純利益2,880百万円(前年同期比95.5%)を見込んでおります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	17,185,650 株	28年12月期	17,185,650 株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	201,329 株	28年12月期	201,318 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	16,984,327 株	28年12月期2Q	16,984,345 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による景気対策等の効果もあり、景気は緩やかな回復傾向基調で推移しているものの、新興国の経済停滞等による地政学的リスクが高まった影響もあり、個人消費は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,592百万円（前年同期比0.4%の増加）、営業損失は328百万円（前年同期は2百万円の営業損失）、経常損失は329百万円（前年同期は14百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は562百万円（前年同期は342百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、昨年同様、入園入学撮影、並びに、端午の節句撮影の推進を図るとともに、5月1日から「早撮り七五三キャンペーン」、5月11日から「七五三お出かけ着物レンタル予約」を開始いたしました。また、生後3ヶ月から7ヶ月のお子様を対象とした「100%ベビースマイルキャンペーン」を実施し、赤ちゃん撮影の件数獲得に努めました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転3店舗を含み12店舗出店、退店6店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を6店舗実施いたしました。そのほか、ペット写真館1店舗を退店いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館506店舗（直営店舗496店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館1店舗、韓国の子会社における子ども写真館3店舗を含め、510店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は15,565百万円（前年同期比0.4%の増加）、セグメント損失は200百万円（前年同期は9百万円のセグメント利益）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、成人振袖レンタル事業の売上規模拡大を図るべく、引き続き、常設店舗での展示予約会、並びに、その店舗を起点とした各地の商業施設等での期間限定展示予約会を実施いたしました。

なお、内部売上高はコストダウン等の影響により減少しました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は861百万円（前年同期比15.2%の減少）、セグメント利益は54百万円（前年同期比75.0%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ481百万円減少の30,003百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ599百万円減少の12,591百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ118百万円増加の17,411百万円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ888百万円増加の9,277百万円となりました。

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少及び短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ525百万円増加の5,949百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ362百万円増加の3,328百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,369百万円減少の20,725百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ945百万円減少し7,296百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純損失560百万円、減価償却費1,486百万円、前受金の増加額805百万円、法人税等の支払額1,016百万円などにより、前年同期に比べ66百万円減少し380百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出1,808百万円などにより、前年同期に比べ330百万円減少し1,771百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、主に短期借入金の純増加額1,050百万円、配当金の支払額849百万円などにより、前年同期に比べ301百万円減少し447百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,702,052	7,756,841
受取手形及び売掛金	959,431	1,105,277
たな卸資産	1,359,381	1,428,359
その他	2,209,603	2,340,537
貸倒引当金	△39,000	△39,020
流動資産合計	13,191,468	12,591,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,369,720	8,401,467
その他(純額)	3,450,617	3,670,142
有形固定資産合計	11,820,337	12,071,610
無形固定資産	1,281,172	1,122,670
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,342,738	3,323,082
その他	1,082,638	1,126,149
貸倒引当金	△233,435	△231,835
投資その他の資産合計	4,191,940	4,217,396
固定資産合計	17,293,451	17,411,677
資産合計	30,484,919	30,003,673
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,114	336,842
短期借入金	—	1,050,000
未払法人税等	1,130,051	388,416
賞与引当金	80,200	145,968
その他	3,913,754	4,028,710
流動負債合計	5,424,120	5,949,938
固定負債		
退職給付に係る負債	888,906	931,972
資産除去債務	1,289,883	1,316,194
その他	786,664	1,079,888
固定負債合計	2,965,453	3,328,055
負債合計	8,389,574	9,277,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	17,455,687	16,050,455
自己株式	△275,722	△275,747
株主資本合計	21,121,363	19,716,107
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	104,523	97,793
その他の包括利益累計額合計	104,523	97,793
非支配株主持分	869,457	911,777
純資産合計	22,095,345	20,725,678
負債純資産合計	30,484,919	30,003,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	15,523,479	15,592,657
売上原価	12,169,965	12,303,199
売上総利益	3,353,513	3,289,458
販売費及び一般管理費	3,355,532	3,617,648
営業損失(△)	△2,018	△328,190
営業外収益		
受取利息	1,258	948
受取家賃	13,150	13,541
受取補償金	1,352	—
雑収入	12,318	12,188
営業外収益合計	28,079	26,679
営業外費用		
支払利息	2,757	2,804
店舗解約損	4,122	21,356
為替差損	17,893	1,518
貸倒引当金繰入額	13,000	—
雑損失	2,560	2,026
営業外費用合計	40,333	27,706
経常損失(△)	△14,272	△329,217
特別利益		
固定資産売却益	4,199	—
特別利益合計	4,199	—
特別損失		
固定資産廃棄損	86,307	41,212
減損損失	101,118	189,700
特別損失合計	187,425	230,913
税金等調整前四半期純損失(△)	△197,498	△560,131
法人税、住民税及び事業税	314,561	278,489
法人税等調整額	△213,516	△318,805
法人税等合計	101,044	△40,316
四半期純損失(△)	△298,542	△519,814
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,719	42,320
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△342,261	△562,135

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△298,542	△519,814
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△59,894	△6,730
その他の包括利益合計	△59,894	△6,730
四半期包括利益	△358,437	△526,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△402,156	△568,865
非支配株主に係る四半期包括利益	43,719	42,320

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△197,498	△560,131
減価償却費	1,616,255	1,486,140
のれん償却額	4,824	4,824
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,380	△1,580
賞与引当金の増減額(△は減少)	69,765	65,942
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49,050	43,065
受取利息	△1,258	△948
支払利息	2,757	2,804
為替差損益(△は益)	△355	△536
固定資産売却損益(△は益)	△4,199	-
固定資産廃棄損	86,307	41,212
減損損失	101,118	189,700
売上債権の増減額(△は増加)	△268,153	△146,718
たな卸資産の増減額(△は増加)	53,797	△73,259
仕入債務の増減額(△は減少)	38,591	36,922
未払消費税等の増減額(△は減少)	△322,659	△407,027
前受金の増減額(△は減少)	627,846	805,509
その他の流動資産の増減額(△は増加)	48,687	230,781
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△260,029	△379,388
その他	22,387	30,938
小計	1,683,612	1,368,252
利息の受取額	2,338	2,069
利息の支払額	△2,757	△2,804
法人税等の支払額	△1,236,891	△1,016,954
法人税等の還付額	-	29,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	446,301	380,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,842,595	△1,436,566
貸付金の回収による収入	3,633	600
無形固定資産の取得による支出	△219,138	△288,900
敷金及び保証金の差入による支出	△103,047	△82,826
敷金及び保証金の回収による収入	87,478	73,684
その他	△28,700	△37,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,102,370	△1,771,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,400,000	1,050,000
セール・アンド・リースバックによる収入	749,212	720,009
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△636,169	△473,525
自己株式の取得による支出	△129	△24
配当金の支払額	△764,297	△849,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	748,615	447,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,521	△980
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△910,974	△945,210
現金及び現金同等物の期首残高	6,357,723	8,241,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,446,748	7,296,394

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が6,120千円、利益剰余金が6,120千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,504,790	18,688	15,523,479	—	15,523,479
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,852	997,232	999,085	△999,085	—
計	15,506,642	1,015,921	16,522,564	△999,085	15,523,479
セグメント利益	9,622	219,409	229,032	△231,050	△2,018

(注) 1. セグメント利益調整額△231,050千円には、固定資産の調整額等△127,071千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△103,978千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては101,118千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,560,900	31,757	15,592,657	—	15,592,657
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,226	830,147	834,373	△834,373	—
計	15,565,126	861,904	16,427,031	△834,373	15,592,657
セグメント利益 又は損失(△)	△200,282	54,758	△145,523	△182,666	△328,190

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△182,666千円には、固定資産の調整額等△75,508千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△107,158千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗及びソフトウェアの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては189,700千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。